

米国NASDAQオープン Aコース／Bコース

運用報告書(全体版)

第47期（決算日2024年5月28日）

作成対象期間（2023年11月29日～2024年5月28日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2000年11月29日以降、無期限です。	
運用方針	米国のNASDAQ上場株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行ないます。株式への投資にあたっては、成長性、収益性、安定性等を総合的に勘案して選択した銘柄に投資することを基本とします。株式の実質組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資対象市場が休場等の場合は組入比率を一時的に引き下げる場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを活用し、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。	
主な投資対象	米国NASDAQオープンAコース／Bコース	米国NASDAQオープンマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式に直接投資する場合もあります。
	米国NASDAQオープンマザーファンド	米国のNASDAQ上場株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	米国NASDAQオープンAコース／Bコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	米国NASDAQオープンマザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年2回の毎決算時に、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等から基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込み	期中騰落率	Nasdaq総合指数 (税引前配当込み、円ヘッジベース)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
43期(2022年5月30日)	16,202	300	△23.8	36,176.06	△21.7	94.7	—	7,889
44期(2022年11月28日)	14,455	250	△9.2	33,170.62	△8.3	93.6	—	16,736
45期(2023年5月29日)	16,674	350	17.8	37,551.06	13.2	99.8	—	20,594
46期(2023年11月28日)	17,975	450	10.5	40,202.26	7.1	98.2	—	11,310
47期(2024年5月28日)	21,679	650	24.2	46,599.66	15.9	97.3	—	11,559

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

※2024年5月28日基準の運用報告書より、「配当無し」の指数から「配当込み指数」に変更しております。

* ベンチマーク (=Nasdaq総合指数 (税引前配当込み、円ヘッジベース)) は、Nasdaq Composite Index*をもとに委託会社がヘッジコストを考慮して円換算した指数です。

※Nasdaq Composite Indexは、米国のNasdaq市場で取引されている全ての株式を対象とした時価総額加重方式の株価指数です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	Nasdaq総合指数 (税引前配当込み、円ヘッジベース)	騰落率		
(期首) 2023年11月28日	円	%		%	%	%
	17,975	—	40,202.26	—	98.2	—
11月末	18,077	0.6	40,241.25	0.1	95.6	—
12月末	18,962	5.5	42,433.85	5.6	95.2	—
2024年1月末	19,946	11.0	43,395.82	7.9	97.7	—
2月末	20,957	16.6	44,457.88	10.6	97.7	—
3月末	21,761	21.1	45,483.28	13.1	97.1	—
4月末	20,893	16.2	44,167.64	9.9	97.3	—
(期末) 2024年5月28日	22,329	24.2	46,599.66	15.9	97.3	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込み	騰落率	Nasdaq総合指数 (税引前配当込み、円換算ベース)	騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
43期(2022年5月30日)	21,507	550	△15.6	57,918.31	△12.2	94.7	—	20,076
44期(2022年11月28日)	21,104	600	0.9	58,951.57	1.8	93.6	—	21,714
45期(2023年5月29日)	25,080	750	22.4	69,272.91	17.5	99.7	—	26,917
46期(2023年11月28日)	28,967	1,050	19.7	80,328.32	16.0	98.2	—	33,588
47期(2024年5月28日)	37,734	1,500	35.4	101,487.34	26.3	97.3	—	54,435

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

※2024年5月28日基準の運用報告書より、「配当無し」の指数から「配当込み指数」に変更しております。

* ベンチマーク (=Nasdaq総合指数 (税引前配当込み、円換算ベース)) は、Nasdaq Composite Index*をもとに委託会社が円換算した指数です。
 ※Nasdaq Composite Indexは、米国のNasdaq市場で取引されている全ての株式を対象とした時価総額加重方式の株価指数です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	Nasdaq総合指数 (税引前配当込み、円換算ベース)	騰落率		
(期首) 2023年11月28日	円 28,967	% —	80,328.32	% —	% 98.2	% —
11月末	28,939	△ 0.1	79,845.81	△ 0.6	96.8	—
12月末	29,509	1.9	81,579.21	1.6	95.6	—
2024年1月末	32,440	12.0	87,223.76	8.6	97.7	—
2月末	34,912	20.5	91,657.98	14.1	97.6	—
3月末	36,563	26.2	94,672.42	17.9	97.1	—
4月末	36,499	26.0	95,754.34	19.2	97.3	—
(期末) 2024年5月28日	39,234	35.4	101,487.34	26.3	97.3	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

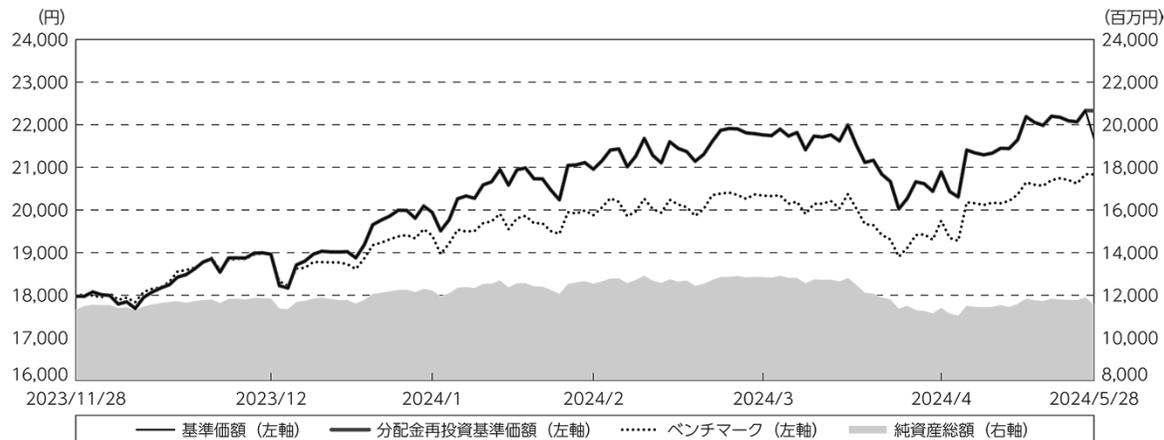
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：17,975円

期末：21,679円 (既払分配金(税込み)：650円)

騰落率：24.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成年首(2023年11月28日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、Nasdaq総合指数(税引前配当込み、円ヘッジベース)です。ベンチマークは、作成年首(2023年11月28日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (上昇) 大手半導体メーカーがAI(人工知能)半導体市場の見通しを大きく上方修正したこと、FOMC(米連邦公開市場委員会)において2024年末にかけての政策金利引き下げが示唆されたこと、FRB(米連邦準備制度理事会)がインフレ状況を判断する上で重視するPCE(個人消費支出)コア価格指数が、2023年12月は前年同月比でほぼ3年ぶりの低い伸びとなったこと
- (上昇) 大手半導体メーカーの2024年2-4月期業績見通しがAI向け需要の強さから市場予想を大きく上回ったことなどが好感されたこと、3月のFOMCで2024年の政策金利について3回の利下げ見通しが維持されたこと

<Aコース>

- (下落) FOMCメンバーの発言を受け早期利下げ期待が後退したこと、中国当局が国内の主要通信事業者に対して外国製半導体の使用を段階的に排除するよう指示していたとの報道などが嫌気されたこと
- (上昇) 1-3月期決算において大手IT企業の業績が市場予想を上回ったことや積極的な株主還元の方針が示されたことなどが好感されたこと

○当ファンドのベンチマークとの差異

*** ベンチマーク対比では8.3ポイントのプラス**
基準価額の騰落率は+24.2%となり、ベンチマークの+15.9%を8.3ポイント上回りました。

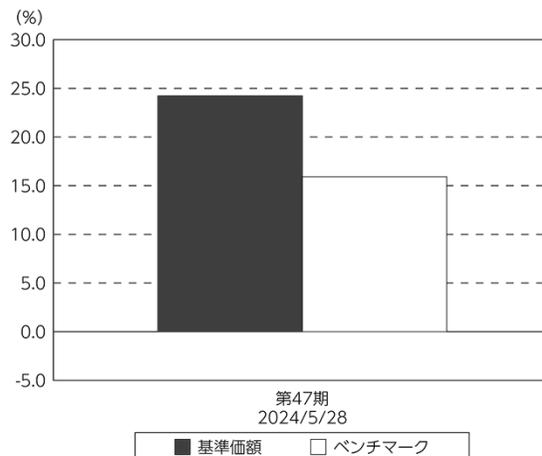
(主なプラス要因)

- ① 銘柄選択で、株価騰落率がベンチマークを上回ったスーパー・マイクロ・コンピューター（コンピュータ・周辺機器）、エヌビディア（半導体・半導体製造装置）などをオーバーウェイトとしたこと
- ② 業種別配分において、株価騰落率がベンチマークを上回った情報技術セクターをオーバーウェイトとしたこと

(主なマイナス要因)

- ① 銘柄選択で、株価騰落率がベンチマークを下回ったゼットスケラー（ソフトウェア）、インテル（半導体・半導体製造装置）などをオーバーウェイトとしたこと

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注) ベンチマークは、Nasdaq総合指数（税引前配当込み、円ヘッジベース）です。

<Aコース>

◎分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり650円とさせていただきます。

留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第47期
	2023年11月29日～ 2024年5月28日
当期分配金	650
(対基準価額比率)	2.911%
当期の収益	650
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	18,502

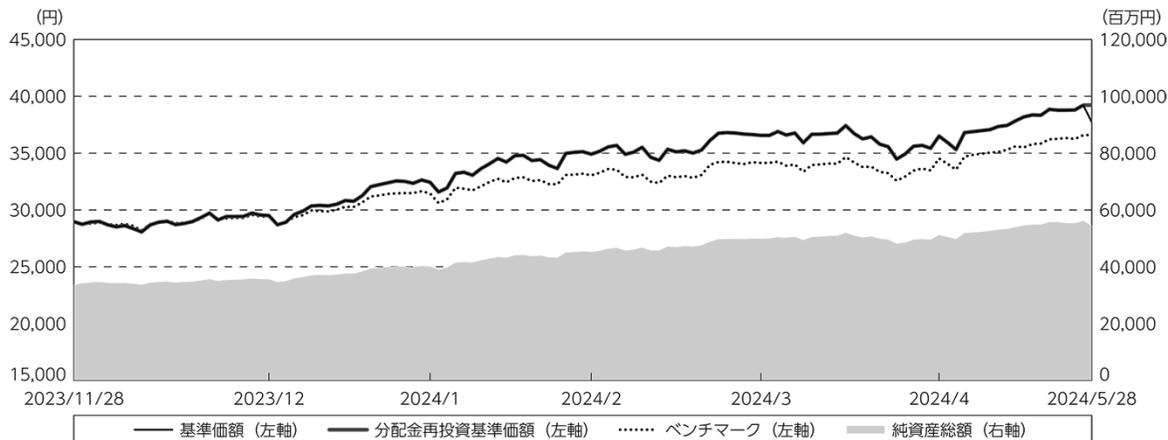
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：28,967円

期末：37,734円 (既払分配金(税込み)：1,500円)

騰落率：35.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2023年11月28日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、Nasdaq総合指数(税引前配当込み、円換算ベース)です。ベンチマークは、作成期首(2023年11月28日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (上昇) 大手半導体メーカーがAI(人工知能)半導体市場の見通しを大きく上方修正したこと、FOMC(米連邦公開市場委員会)において2024年末にかけての政策金利引き下げが示唆されたこと、FRB(米連邦準備制度理事会)がインフレ状況を判断する上で重視するPCE(個人消費支出)コア価格指数が、2023年12月は前年同月比でほぼ3年ぶりの低い伸びとなったこと
- (上昇) 大手半導体メーカーの2024年2-4月期業績見通しがAI向け需要の強さから市場予想を大きく上回ったことなどが好感されたこと、3月のFOMCで2024年の政策金利について3回の利下げ見通しが維持されたこと、為替市場で円が下落(円安)したこと

<Bコース>

- (下落) FOMCメンバーの発言を受け早期利下げ期待が後退したこと、中国当局が国内の主要通信事業者に対して外国製半導体の使用を段階的に排除するよう指示していたとの報道などが嫌気されたこと
- (上昇) 1-3月期決算において大手IT企業の業績が市場予想を上回ったことや積極的な株主還元の方針が示されたことなどが好感されたこと

○当ファンドのベンチマークとの差異

*** ベンチマーク対比では9.1ポイントのプラス**
基準価額の騰落率は+35.4%となり、ベンチマークの+26.3%を9.1ポイント上回りました。

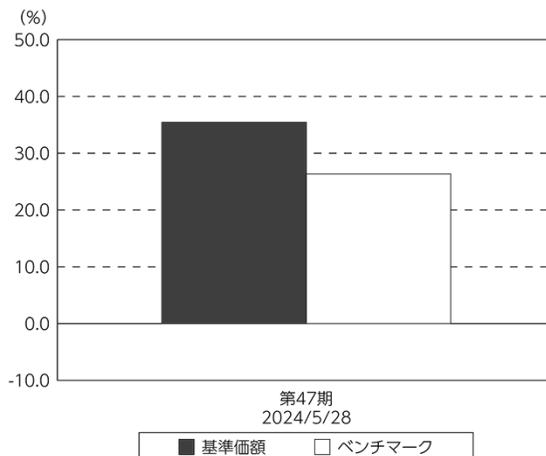
(主なプラス要因)

- ① 銘柄選択で、株価騰落率がベンチマークを上回ったスーパー・マイクロ・コンピューター（コンピュータ・周辺機器）、エヌビディア（半導体・半導体製造装置）などをオーバーウェイトとしたこと
- ② 業種別配分において、株価騰落率がベンチマークを上回った情報技術セクターをオーバーウェイトとしたこと

(主なマイナス要因)

- ① 銘柄選択で、株価騰落率がベンチマークを下回ったゼットスケラー（ソフトウェア）、インテル（半導体・半導体製造装置）などをオーバーウェイトとしたこと

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、Nasdaq総合指数（税引前配当込み、円換算ベース）です。

<Bコース>

◎分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり1,500円とさせていただきます。

留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第47期
	2023年11月29日～ 2024年5月28日
当期分配金	1,500
(対基準価額比率)	3.823%
当期の収益	1,500
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	29,444

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース／Bコース>

○投資環境

米国の株式市場は、当期初、大手半導体メーカーがAI半導体市場の見通しを大きく上方修正したことや、FOMCにおいて2024年末にかけての政策金利引き下げが示唆されたことなどを背景に上昇して始まりました。その後もFRBがインフレ状況を判断する上で重視するPCEコア価格指数が、2023年12月は前年同月比でほぼ3年ぶりの低い伸びとなったこと、複数の大手IT関連企業の10-12月期決算が市場予想を上回ったこと、大手半導体メーカーの2024年2-4月期業績見通しがAI向け需要の強さから市場予想を大きく上回ったことなどが好感されたことを受け上昇しました。2024年4月に入ると、FOMCメンバーであるリッチモンド連銀のバーキン総裁がインフレ抑制に関して時間をかけて対応することが賢明だと述べたことにより早期の利下げ期待が後退したことや、中国当局が国内の主要通信事業者に対して外国製半導体の使用を段階的に排除するよう指示していたとの報道などが嫌気され下落しました。当期末にかけては、1-3月期決算において大手IT企業の業績が市場予想を上回ったことや積極的な株主還元の方針が示されたことなどが好感され上昇に転じ、当期において米国の株式市場は上昇しました。

為替市場では、FRBの早期利下げ期待の高まりなどにより日米金利差が縮小し、米ドル安・円高が進む局面もありましたが、その後は米国の早期利下げ期待が後退したことで再度、日米金利差の拡大期待が高まったことや日銀が緩和的な金融政策を維持する見通しを示したことなどを背景に米ドル高・円安が進行し、当期を通じて米ドル高・円安となりました。

<Aコース/Bコース>

○当ファンドのポートフォリオ

[米国NASDAQオープンマザーファンド]

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 情報技術セクターについては、オーバーウェイト(ベンチマークに比べ高めの投資比率)幅を縮小させました。
- (2) 金融セクターと公益事業セクターについては、アンダーウェイト(ベンチマークに比べ低めの投資比率)からオーバーウェイトへ引き上げました。
- (3) その他のセクターについては、一般消費財・サービスセクターについて、アンダーウェイト幅を拡大させました。

[米国NASDAQオープンAコース]

主要投資対象である [米国NASDAQオープンマザーファンド] 受益証券を期を通じておおむね高位に組み入れました。

・為替ヘッジ(為替の売り予約)

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建資産(米ドルのみ)に対して対円での為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

[米国NASDAQオープンBコース]

主要投資対象である [米国NASDAQオープンマザーファンド] 受益証券を期を通じておおむね高位に組み入れました。

・為替ヘッジ(為替の売り予約)

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジは行ないませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[米国NASDAQオープンマザーファンド]

・投資環境

米国経済は、堅調に推移しています。4月の非農業部門雇用者数は前月差+17.5万人となり3月からは減速しましたが、雇用や賃金ともに伸び率は高水準にあります。一方、インフレ率は引き続き高いものの鈍化傾向にあり、FOMCは、今後の金融政策変更は利下げである旨の情報発信を継続しています。これまでの利上げ効果が企業業績や米国経済にどのような影響を与えるのか注視が必要です。

・運用方針

ファンドの運用にあたっては、成長性、収益性、安定性などを総合的に勘案し、投資対象銘柄を選別します。中期的にはテクノロジーによるイノベーションをもたらす高成長企業への投資を、ソフトウェアやサービス関連銘柄まで含めてファンドの核と考えております。

また、革新的なテクノロジーに加えて、新たな消費動態に対応した製品やサービスを提供し、高い成長が期待できる企業や、革新的な新薬や医療機器、サービスの開発が期待されるヘルスケア関連銘柄にも注目しております。

決算発表等を通じて企業業績や成長性の精査を行ない、株価動向にも注目しながら、銘柄選択を行なってまいります。引き続き、短期的な業績動向に過度にとらわれず、中期的な成長や競争優位性を見極めることに重点をおいた調査を行なってまいります。

[米国NASDAQオープンAコース]

主要投資対象である [米国NASDAQオープンマザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図る方針です。

[米国NASDAQオープンBコース]

主要投資対象である [米国NASDAQオープンマザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジは行なわない方針です。

今後とも、引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

Nasdaq Composite®およびNasdaq®は、The Nasdaq Stock Market, Inc. (以下、その関係会社とともに「ナスダック」といいます。)の登録商標またはサービスマークであり、野村アセットマネジメント株式会社は、その使用を許諾されています。ナスダックはファンドの合法性および適格性について保証するものではありません。ファンドは、ナスダックによって発行、承認、販売または販促されるものではありません。ナスダックは、ファンドに関して担保責任を負わず、いかなる責任も負担しません。

<Aコース>

○ 1万口当たりの費用明細

(2023年11月29日～2024年5月28日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	169	0.842	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(81)	(0.405)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(77)	(0.383)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(11)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.016	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(3)	(0.016)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.003	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	173	0.861	
期中の平均基準価額は、20,099円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

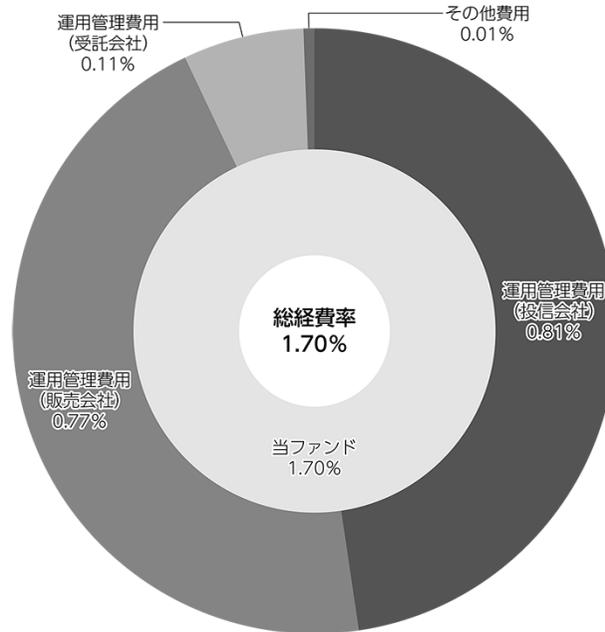
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2023年11月29日～2024年5月28日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米国NASDAQオープンマザーファンド	千口 1,448,159	千円 10,443,081	千口 1,905,484	千円 13,889,000

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2023年11月29日～2024年5月28日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	米国NASDAQオープンマザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	33,546,363千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	53,184,234千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.63	

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月29日～2024年5月28日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年5月28日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米国NASDAQオープンマザーファンド	千口 1,814,783	千口 1,357,457	千円 11,537,305

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

＜Aコース＞

○投資信託財産の構成

(2024年5月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米国NASDAQオープンマザーファンド	11,537,305	94.5
コール・ローン等、その他	677,600	5.5
投資信託財産総額	12,214,905	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*米国NASDAQオープンマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（64,424,139千円）の投資信託財産総額（65,863,262千円）に対する比率は97.8%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=156.94円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年5月28日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	23,137,223,687
コール・ローン等	676,190,219
米国NASDAQオープンマザーファンド(評価額)	11,537,305,699
未収入金	10,923,726,244
未収利息	1,525
(B) 負債	11,577,243,473
未払金	11,105,237,293
未払収益分配金	346,603,442
未払解約金	23,728,395
未払信託報酬	101,476,719
その他未払費用	197,624
(C) 純資産総額(A-B)	11,559,980,214
元本	5,332,360,657
次期繰越損益金	6,227,619,557
(D) 受益権総口数	5,332,360,657口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,679円

(注) 期首元本額は6,292,447,482円、期中追加設定元本額は855,159,788円、期中一部解約元本額は1,815,246,613円、1口当たり純資産額は2.1679円です。

○損益の状況 (2023年11月29日～2024年5月28日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	46,289
受取利息	51,311
支払利息	△ 5,022
(B) 有価証券売買損益	2,269,933,653
売買益	4,126,693,111
売買損	△1,856,759,458
(C) 信託報酬等	△ 101,731,783
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,168,248,159
(E) 前期繰越損益金	964,967,935
(F) 追加信託差損益金	3,441,006,905
(配当等相当額)	(7,079,376,145)
(売買損益相当額)	(△3,638,369,240)
(G) 計(D+E+F)	6,574,222,999
(H) 収益分配金	△ 346,603,442
次期繰越損益金(G+H)	6,227,619,557
追加信託差損益金	3,441,006,905
(配当等相当額)	(7,079,376,145)
(売買損益相当額)	(△3,638,369,240)
分配準備積立金	2,786,612,652

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Aコース>

(注) 分配金の計算過程 (2023年11月29日～2024年5月28日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年11月29日～ 2024年5月28日
a. 配当等収益(経費控除後)	46,289円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	2,168,155,639円
c. 信託約款に定める収益調整金	7,079,376,145円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	965,014,166円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	10,212,592,239円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	19,152円
g. 分配金	346,603,442円
h. 分配金(1万円当たり)	650円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	650円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

2024年11月5日より、ファンドの設定解約の申込締切時間は以下の記載のとおり変更となる予定です。

原則、午後3時30分までに、販売会社が受けた分を当日のお申込み分とします。

(販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。)

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年11月29日～2024年5月28日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	279	0.842	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(134)	(0.405)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(127)	(0.383)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(18)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.018	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(6)	(0.018)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.003	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	286	0.863	
期中の平均基準価額は、33,143円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

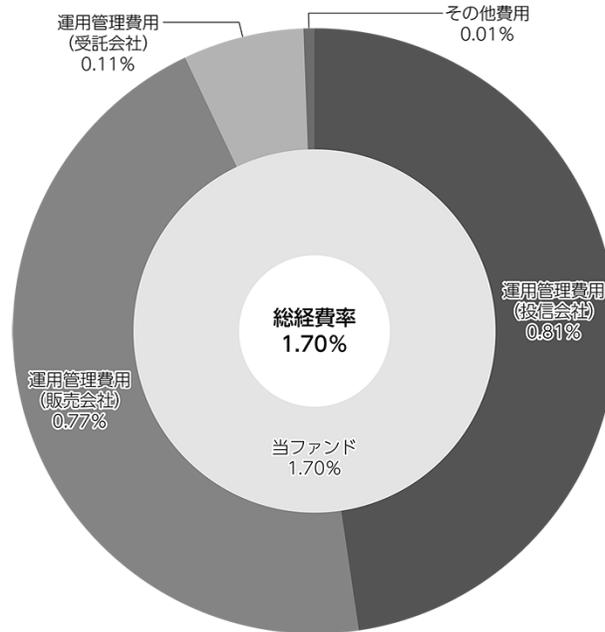
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2023年11月29日～2024年5月28日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米国NASDAQオープンマザーファンド	千口 1,394,717	千円 10,256,209	千口 392,638	千円 3,204,535

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2023年11月29日～2024年5月28日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	米国NASDAQオープンマザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	33,546,363千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	53,184,234千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.63	

*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月29日～2024年5月28日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年5月28日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米国NASDAQオープンマザーファンド	千口 5,389,835	千口 6,391,914	千円 54,326,158

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

＜Bコース＞

○投資信託財産の構成

(2024年5月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米国NASDAQオープンマザーファンド	54,326,158	94.8
コール・ローン等、その他	2,970,698	5.2
投資信託財産総額	57,296,856	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*米国NASDAQオープンマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（64,424,139千円）の投資信託財産総額（65,863,262千円）に対する比率は97.8%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=156.94円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年5月28日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	57,296,856,129
コール・ローン等	2,970,690,644
米国NASDAQオープンマザーファンド(評価額)	54,326,158,783
未収利息	6,702
(B) 負債	2,861,648,072
未払収益分配金	2,163,920,918
未払解約金	326,153,813
未払信託報酬	370,850,958
その他未払費用	722,383
(C) 純資産総額(A-B)	54,435,208,057
元本	14,426,139,456
次期繰越損益金	40,009,068,601
(D) 受益権総口数	14,426,139,456口
1万円当たり基準価額(C/D)	37,734円

(注) 期首元本額は11,595,329,423円、期中追加設定元本額は5,118,510,228円、期中一部解約元本額は2,287,700,195円、1口当たり純資産額は3,7734円です。

○損益の状況 (2023年11月29日～2024年5月28日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	90,221
受取利息	101,104
支払利息	△ 10,883
(B) 有価証券売買損益	12,689,297,521
売買益	13,761,666,480
売買損	△ 1,072,368,959
(C) 信託報酬等	△ 371,573,341
(D) 当期損益金(A+B+C)	12,317,814,401
(E) 前期繰越損益金	6,445,587,508
(F) 追加信託差損益金	23,409,587,610
(配当等相当額)	(25,877,393,045)
(売買損益相当額)	(△ 2,467,805,435)
(G) 計(D+E+F)	42,172,989,519
(H) 収益分配金	△ 2,163,920,918
次期繰越損益金(G+H)	40,009,068,601
追加信託差損益金	23,409,587,610
(配当等相当額)	(25,877,393,045)
(売買損益相当額)	(△ 2,467,805,435)
分配準備積立金	16,599,480,991

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Bコース>

(注) 分配金の計算過程 (2023年11月29日～2024年5月28日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年11月29日～ 2024年5月28日
a. 配当等収益(経費控除後)	90,221円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	12,317,666,365円
c. 信託約款に定める収益調整金	25,877,393,045円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	6,445,645,323円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	44,640,794,954円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	30,944円
g. 分配金	2,163,920,918円
h. 分配金(1万円当たり)	1,500円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	1,500円
----------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

2024年11月5日より、ファンドの設定解約の申込締切時間は以下の記載のとおり変更となる予定です。

原則、午後3時30分までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。

(販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。)

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2024年5月28日現在）

<米国NASDAQオープンマザーファンド>

下記は、米国NASDAQオープンマザーファンド全体(7,749,372千口)の内容です。

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AKAMAI TECHNOLOGIES	133	—	—	—	情報技術サービス
ALPHABET INC-CL A	2,036	1,734	30,343	4,762,072	インタラクティブ・メディアおよびサービス
AMAZON.COM INC	1,774	1,577	28,504	4,473,460	大規模小売り
APPLE INC	1,042	460	8,739	1,371,511	コンピュータ・周辺機器
APPLIED MATERIALS	407	387	8,548	1,341,592	半導体・半導体製造装置
ARISTA NETWORKS INC	217	154	4,720	740,893	通信機器
ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A	—	361	6,095	956,682	ソフトウェア
BENTLEY SYSTEMS INC-CLASS B	581	—	—	—	ソフトウェア
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	342	325	2,454	385,193	バイオテクノロジー
BROADCOM INC	88	74	10,418	1,635,003	半導体・半導体製造装置
CDW CORPORATION	—	189	4,367	685,362	電子装置・機器・部品
CINTAS CORP	101	81	5,530	867,997	商業サービス・用品
CONFLUENT INC-CLASS A	—	2,007	6,051	949,660	ソフトウェア
COPART INC	620	589	3,181	499,348	商業サービス・用品
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	391	232	8,154	1,279,705	ソフトウェア
META PLATFORMS INC-CLASS A	292	479	22,906	3,594,983	インタラクティブ・メディアおよびサービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	—	396	7,907	1,241,038	コングロメリット
INSULET CORP	—	452	8,139	1,277,360	ヘルスケア機器・用品
INTEL CORP	2,106	1,117	3,431	538,527	半導体・半導体製造装置
INTUITIVE SURGICAL INC	152	144	5,829	914,935	ヘルスケア機器・用品
KLA CORP	—	74	5,765	904,766	半導体・半導体製造装置
MARRIOTT INTERNATIONAL-CLA	243	231	5,465	857,713	ホテル・レストラン・レジャー
MARVELL TECHNOLOGY INC	1,137	605	4,639	728,066	半導体・半導体製造装置
MICROSOFT CORP	662	1,134	48,780	7,655,555	ソフトウェア
MICRON TECHNOLOGY	1,486	1,565	20,265	3,180,418	半導体・半導体製造装置
NATERA INC	464	—	—	—	バイオテクノロジー
NEXTERA ENERGY INC	—	817	6,259	982,293	電力
NVIDIA CORP	473	470	50,040	7,853,345	半導体・半導体製造装置
ORACLE CORPORATION	664	634	7,792	1,222,954	ソフトウェア
PTC INC	225	—	—	—	ソフトウェア
PROCORE TECHNOLOGIES INC	342	705	4,846	760,668	ソフトウェア
PROGYNY INC	603	—	—	—	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
QUALCOMM INC	831	837	17,607	2,763,263	半導体・半導体製造装置
REGENERON PHARMACEUTICALS	—	47	4,629	726,568	バイオテクノロジー
SERVICENOW INC	69	45	3,323	521,557	ソフトウェア
SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A	380	2,252	15,378	2,413,565	金融サービス
SKYWORKS SOLUTIONS INC	313	—	—	—	半導体・半導体製造装置
SNOWFLAKE INC-CLASS A	240	—	—	—	情報技術サービス
SUPER MICRO COMPUTER INC	180	94	8,308	1,303,931	コンピュータ・周辺機器
TESLA INC	443	—	—	—	自動車
TRADE DESK INC/THE -CLASS A	578	710	6,727	1,055,774	メディア
TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A	607	576	6,465	1,014,711	資本市場
WORKDAY INC-CLASS A	295	204	4,506	707,260	ソフトウェア
ZSCALER INC	409	770	13,216	2,074,162	ソフトウェア

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等		
		株数	評 価 額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(アメリカ) EATON CORP PLC	百株 107	百株 —	千米ドル —	千円 —	電気設備	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	21,033 37	22,528 36	409,340 —	64,241,904 <97.5%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

米国NASDAQオープンマザーファンド

運用報告書

第23期（決算日2023年11月28日）

作成対象期間（2022年11月29日～2023年11月28日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	米国のNASDAQ上場株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いません。株式への投資にあたっては、成長性、収益性、安定性等を総合的に勘案して選択した銘柄に投資することを基本とします。株式の組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資対象市場が休場等の場合は組入比率を一時的に引き下げる場合があります。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	米国のNASDAQ上場株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		株組入比率	株先物比率	純総資産額
	期騰落	中率	Nasdaq総合指数 (円換算ベース)	期騰落中率			
	円	%		%	%	%	百万円
19期(2019年11月28日)	24,890	19.4	316.13	18.3	97.3	—	9,524
20期(2020年11月30日)	35,731	43.6	420.97	33.2	97.2	—	27,187
21期(2021年11月29日)	48,150	34.8	585.11	39.0	95.1	—	30,709
22期(2022年11月28日)	41,730	△13.3	518.41	△11.4	93.8	—	38,379
23期(2023年11月28日)	62,195	49.0	700.41	35.1	98.4	—	44,808

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* ベンチマーク (=Nasdaq総合指数 (円換算ベース)) は、Nasdaq Composite Index (US\$ベース) をもとに当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の米ドル為替レート (対顧客電信売買相場仲値) で円換算しております。設定日 (2000年11月29日) を100として当社で再指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

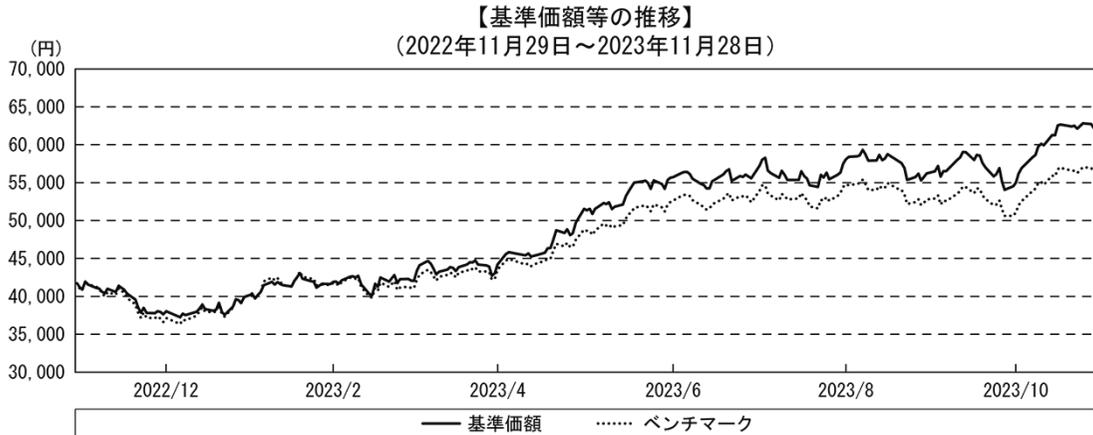
年月日	基準価額		ベンチマーク		株組入比率	株先物比率
	騰落	率	Nasdaq総合指数 (円換算ベース)	騰落率		
(期首) 2022年11月28日	円	%		%	%	%
	41,730	—	518.41	—	93.8	—
11月末	40,893	△ 2.0	506.37	△ 2.3	91.6	—
12月末	38,027	△ 8.9	461.60	△11.0	93.0	—
2023年1月末	39,715	△ 4.8	493.50	△ 4.8	92.8	—
2月末	41,898	0.4	518.98	0.1	97.5	—
3月末	44,105	5.7	532.55	2.7	97.3	—
4月末	44,217	6.0	540.67	4.3	98.0	—
5月末	51,558	23.6	604.02	16.5	98.2	—
6月末	55,732	33.6	654.20	26.2	98.8	—
7月末	57,226	37.1	670.01	29.2	98.2	—
8月末	58,046	39.1	680.43	31.3	97.8	—
9月末	56,203	34.7	655.54	26.5	97.7	—
10月末	55,003	31.8	634.80	22.4	97.8	—
(期末) 2023年11月28日	円	%		%	%	%
	62,195	49.0	700.41	35.1	98.4	—

* 騰落率は期首比です。

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) ベンチマークは、Nasdaq総合指数 (円換算ベース) です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首41,730円から期末62,195円となりました。

- (下落) FOMC (米連邦公開市場委員会) でパウエルFRB (米連邦準備制度理事会) 議長が継続利上げの必要性を強調したことで、景気後退と企業収益悪化への警戒が高まったこと
- (上昇) FRBの金融引き締め長期化への警戒が和らいだこと、中国のゼロコロナ政策の事実上の終了などが好感されたこと
- (下落) FRBによる利上げ早期停止への期待が後退したこと、米金融機関の経営破綻やスイスの大手金融グループの経営不安をきっかけに信用不安が広がったこと
- (上昇) 欧米の金融システムへの懸念が後退したことで投資家心理が改善したこと、米インフレ率に鈍化傾向が見られたため、利上げ打ち止め期待が高まったこと、米大手IT企業の2023年1-3月期決算や、米大手半導体企業の5-7月期の業績見通し、米大手金融機関などの4-6月期決算が市場予想を大きく上回ったこと
- (横ばい) 大手格付機関が米国債の格付けを引き下げたこと、7月のFOMC議事録で、政策金利引き上げ継続の可能性が議論されていたことが明らかとなり金融引き締めが長期化すると懸念が高まったこと、FRBの金融引き締め継続観測などから日米金利差の拡大期待が強まり、為替市場で円が下落 (円安) したこと

- (下落) 9月のFOMCにおいて政策金利の据え置きが決定されたものの、年内に追加利上げを行ない、高い金利水準の維持が示唆されたこと、米下院議長選挙での選出遅れによる政局混乱に対する懸念が高まったこと、米大手IT企業の決算において先行き不透明感が強まったこと
- (上昇) 10月のFOMCでパウエルFRB議長が、引締めサイクルが終焉に近付いていると示唆したこと、10月の米CPI（消費者物価指数）上昇率が市場予想を下回りインフレ懸念が後退したこと、10月の米小売売上高が市場予想を上回り消費の堅調さが意識されたこと、米10年債利回りが低下したこと

○当ファンドのポートフォリオ

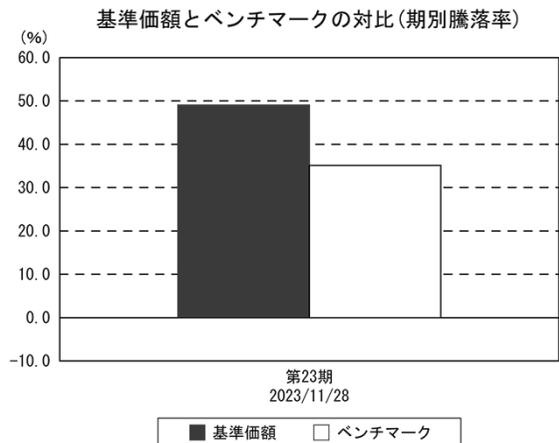
- ・株式組入比率
期を通じておおむね高位を維持しました。
- ・期中の主な動き
 - (1) 情報技術セクターについては、オーバーウェイト（ベンチマークに比べ高めの投資比率）幅を拡大させました。
 - (2) ヘルスケアセクターについては、オーバーウェイトからアンダーウェイト（ベンチマークに比べ低めの投資比率）へと引き下げました。また、コミュニケーション・サービスセクターについては、アンダーウェイト幅を拡大させました。
 - (3) その他のセクターについては、一般消費財・サービスセクターについて、オーバーウェイトからアンダーウェイトへと引き下げました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

- * ベンチマーク対比では13.9ポイントのプラス
基準価額の騰落率は+49.0%となり、ベンチマークの+35.1%を13.9ポイント上回りました。

(主なプラス要因)

- ① 銘柄選択で、株価騰落率がベンチマークを上回ったスーパー・マイクロ・コンピューター（コンピュータ・周辺機器）、クラウドストレージ・ホールディングス（ソフトウェア）などをオーバーウェイトとしたこと
- ② 業種配分において、株価騰落率がベンチマークを上回った情報技術セクターをオーバーウェイトとしたこと



(注) ベンチマークは、Nasdaq総合指数（円換算ベース）です。

(主なマイナス要因)

- ①銘柄選択で、株価騰落率がベンチマークを下回ったインシュレット（ヘルスケア機器・用品）などをオーバーウェイトとしたこと

◎今後の運用方針

○投資環境

米国経済は、雇用環境は底堅く推移しているものの、好調だった個人消費に陰りがみられるなど減速感もみられます。また、10月のCPI上昇率は前年同月比+3.2%と前月から鈍化しました。このため、10月のFOMCでは利上げが見送られ、今後の追加利上げの必要性は低下しているとの見方も出ています。これまでの利上げ効果が企業業績や米国経済にどのような影響を与えるのか注視が必要です。

○運用方針

ファンドの運用にあたっては、成長性、収益性、安定性などを総合的に勘案し、投資対象銘柄を選別します。中期的にはテクノロジーによるイノベーションをもたらす高成長企業への投資を、ソフトウェアやサービス関連銘柄まで含めてファンドの核と考えております。

また、革新的なテクノロジーに加えて、新たな消費動態に対応した製品やサービスを提供し、高い成長が期待できる企業や、革新的な新薬や医療機器、サービスの開発が期待されるヘルスケア関連銘柄にも注目しております。

決算発表等を通じて企業業績や成長性の精査を行ない、株価動向にも注目しながら、銘柄選択を行なってまいります。引き続き、短期的な業績動向に過度にとらわれず、中期的な成長や競争優位性を見極めることに重点をおいた調査を行なってまいります。

Nasdaq Composite[®]およびNasdaq[®]は、The Nasdaq Stock Market, Inc.（以下、その関係会社とともに「ナスダック」といいます。）の登録商標またはサービスマークであり、野村アセットマネジメント株式会社は、その使用を許諾されています。ナスダックはファンドの合法性および適格性について保証するものではありません。ファンドは、ナスダックによって発行、承認、販売または販促されるものではありません。ナスダックは、ファンドに関して担保責任を負わず、いかなる責任も負担しません。

○1万口当たりの費用明細

(2022年11月29日～2023年11月28日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 27 (27)	% 0.057 (0.057)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.003 (0.003) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	29	0.061	
期中の平均基準価額は、48,551円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年11月29日～2023年11月28日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 23,811 (317)	千米ドル 245,116 (ー)	百株 22,734	千米ドル 311,885

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

* () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2022年11月29日～2023年11月28日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	78,242,434千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	40,649,804千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.92

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年11月29日～2023年11月28日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年11月28日現在)

外国株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ADOBE INC	236	—	—	—	ソフトウェア
AKAMAI TECHNOLOGIES	631	133	1,512	224,132	情報技術サービス
ALPHABET INC-CL A	—	2,036	27,773	4,114,581	インタラクティブ・メディアおよびサービス
AMAZON.COM INC	1,632	1,774	26,207	3,882,611	大規模小売り
APPLE INC	1,576	1,042	19,776	2,929,831	コンピュータ・周辺機器
APPLIED MATERIALS	617	407	6,137	909,339	半導体・半導体製造装置
ARISTA NETWORKS INC	—	217	4,745	702,992	通信機器
BENTLEY SYSTEMS INC-CLASS B	—	581	3,002	444,750	ソフトウェア
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	—	342	3,030	448,912	バイオテクノロジー
BROADCOM INC	—	88	8,362	1,238,846	半導体・半導体製造装置
CME GROUP INC	168	—	—	—	資本市場
CINTAS CORP	176	101	5,603	830,095	商業サービス・用品
CONSTELLATION ENERGY	300	—	—	—	電力
COPART INC	—	620	3,174	470,287	商業サービス・用品
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	423	391	8,213	1,216,865	ソフトウェア
EXELON CORPORATION	1,030	—	—	—	電力
META PLATFORMS INC-CLASS A	—	292	9,773	1,447,905	インタラクティブ・メディアおよびサービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	288	—	—	—	コングロメリット
INSULET CORP	157	—	—	—	ヘルスケア機器・用品
INTEL CORP	—	2,106	9,283	1,375,313	半導体・半導体製造装置
INTUIT INC	169	—	—	—	ソフトウェア
INTUITIVE SURGICAL INC	294	152	4,787	709,297	ヘルスケア機器・用品
LAM RESEARCH	189	—	—	—	半導体・半導体製造装置

銘柄	株数	当期		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
LULULEMON ATHLETICA INC	111	—	—	—	—	繊維・アパレル・贅沢品
MARRIOTT INTERNATIONAL-CLA	253	243	5,042	747,045	—	ホテル・レストラン・レジャー
MARVELL TECHNOLOGY INC	—	1,137	6,355	941,616	—	半導体・半導体製造装置
MASTERCARD INC	123	—	—	—	—	金融サービス
MERCK & CO INC	809	—	—	—	—	医薬品
MICROSOFT CORP	1,293	662	25,063	3,713,228	—	ソフトウェア
MICROCHIP TECHNOLOGY	1,380	—	—	—	—	半導体・半導体製造装置
MICRON TECHNOLOGY	892	1,486	11,517	1,706,389	—	半導体・半導体製造装置
NATERA INC	—	464	2,553	378,353	—	バイオテックノロジー
NVIDIA CORP	—	473	22,818	3,380,555	—	半導体・半導体製造装置
ORACLE CORPORATION	637	664	7,733	1,145,734	—	ソフトウェア
PTC INC	—	225	3,481	515,839	—	ソフトウェア
PAYPAL HOLDINGS INC	302	—	—	—	—	金融サービス
PEPSICO INC	574	—	—	—	—	飲料
PLUG POWER INC	631	—	—	—	—	電気設備
PROCORE TECHNOLOGIES INC	—	342	1,931	286,118	—	ソフトウェア
PROGYNY INC	757	603	2,061	305,345	—	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
QUALCOMM INC	413	831	10,653	1,578,304	—	半導体・半導体製造装置
QUANTUMSCAPE CORP	745	—	—	—	—	自動車用部品
REGENERON PHARMACEUTICALS	61	—	—	—	—	バイオテックノロジー
SERVICENOW INC	121	69	4,626	685,459	—	ソフトウェア
SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A	—	380	2,471	366,211	—	金融サービス
SKYWORKS SOLUTIONS INC	721	313	2,960	438,669	—	半導体・半導体製造装置
SNOWFLAKE INC-CLASS A	—	240	4,087	605,518	—	情報技術サービス
SUPER MICRO COMPUTER INC	—	180	5,226	774,329	—	コンピュータ・周辺機器
TESLA INC	176	443	10,458	1,549,403	—	自動車
TRADE DESK INC/THE -CLASS A	—	578	3,999	592,478	—	メディア
TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A	901	607	5,831	863,929	—	資本市場
ULTA BEAUTY INC	150	—	—	—	—	専門小売り
VERISK ANALYTICS INC	175	—	—	—	—	専門サービス
VERTEX PHARMACEUTICALS	210	—	—	—	—	バイオテックノロジー
WORKDAY INC-CLASS A	318	295	6,956	1,030,677	—	ソフトウェア
ZSCALER INC	—	409	7,849	1,162,846	—	ソフトウェア
EATON CORP PLC	—	107	2,447	362,663	—	電気設備
合計	株数・金額	19,639	21,033	297,512	44,076,482	
	銘柄数<比率>	38	37	—	<98.4%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2023年11月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	44,076,482	96.2
コール・ローン等、その他	1,739,053	3.8
投資信託財産総額	45,815,535	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建純資産(44,323,219千円)の投資信託財産総額(45,815,535千円)に対する比率は96.7%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=148.15円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年11月28日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	45,815,535,442
コール・ローン等	500,279,609
株式(評価額)	44,076,482,356
未収入金	1,219,911,093
未収配当金	18,862,384
(B) 負債	1,006,662,964
未払金	1,006,662,568
未払利息	396
(C) 純資産総額(A-B)	44,808,872,478
元本	7,204,618,600
次期繰越損益金	37,604,253,878
(D) 受益権総口数	7,204,618,600口
1万口当たり基準価額(C/D)	62,195円

(注) 期首元本額は9,197,075,430円、期中追加設定元本額は6,358,524,183円、期中一部解約元本額は8,350,981,013円、1口当たり純資産額は6,2195円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・米国NASDAQオープンBコース 5,389,835,290円
 ・米国NASDAQオープンAコース 1,814,783,310円

○損益の状況 (2022年11月29日～2023年11月28日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	238,248,628
受取配当金	227,714,556
受取利息	10,789,762
その他収益金	59,292
支払利息	△ 314,982
(B) 有価証券売買損益	17,726,100,960
売買益	18,807,693,563
売買損	△ 1,081,592,603
(C) 保管費用等	△ 1,156,894
(D) 当期損益金(A+B+C)	17,963,192,694
(E) 前期繰越損益金	29,182,568,038
(F) 追加信託差損益金	24,180,117,033
(G) 解約差損益金	△33,721,623,887
(H) 計(D+E+F+G)	37,604,253,878
次期繰越損益金(H)	37,604,253,878

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。